

2018年9月作成

# 修士論文要領 (学生用)

敦賀市立看護大学大学院

看護学研究科看護学専攻

## 修士論文審査要領

### I 修士論文の作成

学生は、選択分野の特別研究における合同セッションによる助言や必要時他分野の教員の助言をもとに修士論文を作成する。

### II 修士論文審査の手順

#### 1 修士論文題目・研究計画発表・倫理審査

修士論文申請資格審査を受けるものは、申請に先立ち修士論文題目の提出および研究計画発表を行う。修士論文の題目は研究科長宛てに提出する。研究計画発表会は本学教員・大学院生の参加の下で実施する。なお、学部生の参加も可とする。研究計画を発表した後に、倫理審査を受ける。

#### 2 修士論文審査申請

修士の学位の授与を受けようとする者は、研究科長の定める期日までに、修士論文（3部）、学位授与申請書および修士論文審査願を学長宛てに提出しなければならない。修士論文申請資格は、下記の要件をすべて満たす者とする。

- 1) 大学院に2年以上在学または在学見込みの者
- 2) 共通科目の12単位以上、看護専門科目10単位以上の計22単位以上を修得、あるいは修得見込みの者
- 3) 必要な研究指導を受けた者

#### 3 修士論文審査

修士論文の審査は、他分野の教授を主査とし、他分野の教授または准教授以上の副査2名の計3名で行う。また、審査には他大学の教員や医療関係機関等の職員が加わることもある。

#### 4 公開発表会

申請者には修士論文の公開発表を義務づける。公開発表にあたって学位申請者は事前に論文要旨（1部）を提出する。公開発表の後、必要な修正を行った修士論文（3部）を提出する。

#### 5 最終試験（口頭試問）

公開発表を終了し修士論文を提出した学位申請者には、最終試験を義務づける。試験は審査委員3名により口頭で行う。口頭試問は原則として公開で行う。口頭試問を終え、修士論文最終稿（3部）を提出する。

### III 論文審査の評価基準

#### 1 研究目的の明確化

- ・研究課題と研究目的は十分に説明されているか。
- ・研究課題は、具体的であり論文の内容を表す記述になっているか。

#### 2 先行研究の十分な検討

研究課題に関する国内外の文献が適切に検索され、自己の研究課題と結びついているか。

#### 3 研究方法の妥当性

研究方法は、研究課題・目的の達成のために妥当な方法であるか。

#### 4 データ収集・分析の信頼性・妥当性

データ収集と分析は適切な方法でなされ、信頼性が確保されているか。

#### 5 研究における倫理的配慮と手続き

研究における被験者への倫理的配慮およびその手続きが十分なされているか。

#### 6 論文構成の適切性

論理的一貫性を持って、論述されているか。

#### 7 研究の独創性および新規性

研究の独創性および新規性はあるか。

#### 8 研究結果の有効な活用性の有無（看護学発展への貢献）

研究結果は今後有効に活用されるべき内容か。また、研究の限界や課題が明確に記述されているか。

## 修士論文作成要領

### I 論文作成要領

- 1 論文は和文または英文とする。
- 2 原則としてワープロまたはパソコンを用いA4用紙、横書き、口語体とする。
- 3 文字の大きさは10.5ポイントとし、用紙1枚に(40字×30行)1200字詰めとする。
- 4 余白は上下30mm、左右25mmとする。
- 5 論文は最初のページに、「題名(タイトル)、専門分野、学籍番号、氏名、指導教員名を記す。和文タイトルの場合は、英文タイトルを併記する。
- 6 本文は、I 緒言(はじめに)、II 用語の定義、III 文献検討、IV 研究目的、V 研究方法、VI 結果、VII 考察、VIII 研究の限界と課題、IX 結論、X 結語、謝辞、利益相反、引用文献、参考文献、資料の順に分けて記述する。小見出しに番号を付す場合には、1 2 3・・・、1) 2) 3)・・・、(1) (2) (3)・・・、a) b) c)・・・の順序で使用する。論文が長い場合は目次を入れ、読みやすい工夫を行う。また、図表を用いる場合は本文中に挿入する。
- 7 本文原稿は10枚以上とし、上限は制限しない。
- 8 文献は引用文献のみ記載する。本文中引用順に配列し、引用箇所の右肩に文献番号1) 2) 3)・・・のように明示する。なお、同一文献を繰り返し引用する場合は、「前掲書」とする。
  - 1) 雑誌の場合 著者名：表題， 雑誌名， 巻， 号,最初頁—最終頁， 年(西暦)。
  - 2) 単行本の場合 著者名：引用部分の題名， 書名(編者名)， 版数， 最初頁—最終頁， 発行所， 年(西暦)。
  - 3) 翻訳書の場合 原著者名/訳者名：翻訳書引用部分の題名， 翻訳書の書名， 版数， 最初頁—最終頁， 発行所， 年(西暦)。なお、著者が多数の場合には、著者名は3人までとし4人目よりは他、またはet alとする。
- 9 論文には表紙を付けて、左綴じに製本する。表紙は、題名(タイトル)、氏名、看護学分野、指導教員名、提出年月日を記載する。

### II 修士論文要旨作成要領

- 1 要旨は和文または英文とする。
- 2 原則としてワープロまたはパソコンを用いA4用紙、横書き、口語体とする。
- 3 文字の大きさは10.5ポイントとし、用紙1枚に(40字×40行)1600字詰め2枚以内とする。
- 4 要旨は、題名(タイトル)、看護学分野、学籍番号、氏名、指導教員名を記入し、1行空けて、要旨本文を記載する。和文タイトルの場合は英文タイトルを併記する。
- 5 キーワードは5語以内とし、要旨の後に入れる。
- 6 要旨は印刷し、公開発表会に配布する。

Ⅲ 修士論文原稿の体裁

修 士 論 文

(20ポイント太字)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究

(18ポイント太字)

(Study of . . . . .)

(16ポイント太字)

敦賀市立看護大学大学院看護学研究科看護学専攻

看護学分野○○

学籍番号 ○○○○○○

氏 名 ○ ○ ○ ○

主担当教員 教授 ○ ○ ○ ○

(12ポイント太字)

( 年 月 日 提出)

修士論文要旨 (12ポイント太字)

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇に関する研究

看護学分野〇〇 学籍番号〇〇〇〇 氏名 〇〇〇〇

主担当教員 教授 〇〇〇〇 (10.5ポイント太字)

文字の大きさは10.5ポイントとする。

キーワードを入れる。

目 次 (14ポイント太字)

I	緒言	1
II	用語の定義	3
III	文献検討	5
IV	研究目的	(12ポイント)
V	研究方法	
	1	
	2	
VI	結果	
	1	
	1)	
	2)	
	2	
	3	
VII	考察	
	1	
	1)	
	2)	
VIII	結論	
IX	結語	
	謝辞	
	利益相反	
	引用文献	
	参考文献	
	資料	
	資料1	
	資料2	

様式1

## 年度修士論文題目届

年 月 日

敦賀市立看護大学看護学研究科長 殿

修士論文の題目を以下の通り申請します。

入学年度	年度
看護学分野	
学籍番号	
ふりがな	
氏 名	印
修士論文題目	

主担当教員

印



年 月 日

敦賀市立看護大学学長 殿

学 籍 番 号

氏 名

印

## 学 位 授 与 申 請 書

敦賀市立看護大学学位規程第4条の規定により、修士（看護学）の学位を申請します。

# 修士論文審査願

年 月 日

敦賀市立看護大学学長 殿

申請者

看護学研究科修士課程

看護学分野

入学年度

年度

学籍番号

氏 名

印

修士論文題目 (和文の場合は英文併記)

修士論文の審査を申請します。

主担当教員

氏名

印

\*受付番号

様式4

## 研究倫理審査申請書

申請日 年 月 日

敦賀市立看護大学  
研究倫理審査委員会 委員長 様

所属 \_\_\_\_\_  
職名 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ 印

以下の研究について倫理審査を申請いたします。

研究課題（研究課題の英文併記）
研究者（複数名の場合は、研究代表者氏名の冒頭に○印をつける） （氏名） （所属） （職名）
添付文書（以下、書面で準備してください） （1）依頼書、説明書 （2）調査用紙、インタビュー用紙等 （3）同意書（撤回書）は必要に応じて添付 （4）その他（他施設での研究倫理審査状況に関する資料など）*

\*共同研究者が既に他施設において研究倫理審査の承認を受けている場合は、その通知書の写し

### ※事務局記入欄

審査日：  通常審査（ 月 日）  簡易審査（ 月 日）

審査結果：

- 承認  
 条件付承認  修正後の提出（ 月 日）  修正確認（ 月 日）  
 再審査  再提出（ 月 日）  再審査（ 月 日）  
 不承認  
 非該当